


たんほほ



NO. 66

H4.12.1
-発行-
〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

検診

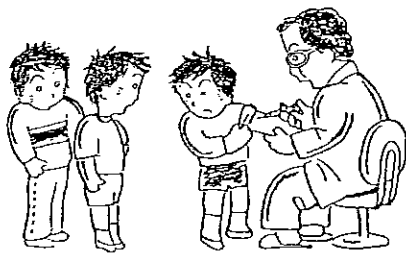
理事長 田中 稔

春、秋定例で内科検診をします。当初は他の先生にお願いしていたのですが、いろんな事情で現在は嘱託医として私がやっています。秋の検診は採血も行い、データをチェックします。先日、医院の方の仕事を早めに切り上げて午後2時半前に施設へ滑り込みました。園生は診療室の隣の広い作業室で並んで待っています。数名ずつ診療室へ入って来るのですが、そこでいろんな表情が見られます。園での生活レベルでの様子と診察、採血場面での様子は必ずしも一致しません。床屋と病院が大嫌いな健ちゃんが一番緊張していました。又、全く無表情で針が刺さってもピクリともしない子もいます。多

くの園生は緊張したり、怖がったりしながら我慢して採血を受けてくれます。

採血という行為をスムーズに行うコツはゴチャゴチャ言わずに黙ってサツサツと素早くやってしまう事です。不必要な声掛け等はいかえって混乱させます。こちらが緊張して気が集中している時は子供は手を動かしません、気が他に移ったり抜けたりすると、とたんに手が動きます。今回一例これで失敗しました。若い人の血管は見えていないものでも弾力があり、内腔が広いので刺し損なう事はありません。こうしたデータの中で三気の里の様な若い人達の施設でまずひっかかるのが肥満↓高脂血症↓脂肪肝↓肝障害というパターンです。

白衣、診察、採血というものに慣れてもらう為の検診なのですが、年々こういう場面での適応力が、経験という形で積み重なって出来ているのが分かります。五十名の診察を終えるのに急いでも2時間半はたっぷりかかります。それから総務会、園内の見回りを一通り終え、帰り支度をして玄関に出たところ由布子ちゃんにバツタリ出会いました。由布子ちゃんは私の手をとって『さようなら！』と大きな声を発しながら駐車場まで見送ってくれました。この声に送られながら施設を後にしたころには外はすっかり暗くなっていました。



療育シリーズ

口の中の健康管理

園長 土井尚典

園生の口の中の健康管理では、歯の健康診断、治療と歯磨き指導を含めた予防等どれをとっても障害者には大変なことである。歯の健康診断では歯科衛生士の学校の先生方と学生さんに一斉健康診断をして戴いた。更に有り難いことには歯科衛生士のボランティアさんが月に一度以上三気の里にやって来て、歯磨き指導を職員・園生・保護者にして戴くことである。このことが歯科治療に大いに役立っている。顔を触られる。口を開ける。口を開けたままでいられる。口の中で何かをされる。歯の治療をさせる等のステップを確実にクリアして来ている。

歯科治療では看護師が歯の健康診断に基づいて治療予定を組んで通院している。虫歯の進行具合や園生の治療に協力する度合等考慮

に入れ予定を組む。最近では全身麻酔の治療を受ける園生は3人程に減って来て、近隣の歯科医で治療が可能になって来ている。近隣の歯科医の協力は絶大で、特に自閉性障害への理解を治療室ぐるみで努力されていることは感謝に耐えない。指導員が治療室まで入り込んでそばについている事が少なくなってきた。

K子さんが奥歯3本の治療に行くことになった。とても治療をさせないだろうとの予想であった。

先ずは病院に慣れることから始めようということに通院した。大方の予想を見事に裏切って、3本の治療をする間我慢ができた。本人の努力も勿論であるが、歯磨き指導等のおかげである。2週間後のK子さんの通院の日、私は付き添った。11時の予約であったが診療の都合上一緒に言ったF子さんが先

になった。待っている間、表情は変わらないように見えるが、突然「オシッコ。」と言ってなんども

トイレに走り出した。オシッコも種が尽きたのか、「ウンコ。」と言ってトイレにはしりこんだ。前回治療を受けさせたから心配ないなどと決して思っただけはない。待っていることも、歯の治療を受けることも本当は厭でたまらないのである。私達と気持ちと同じである。通院に連れて行くこと、待っている間、次回も来なくてはいけないこと、歯を磨く大切さなど指導の課題はたくさんある。

「歯が痛ければ、歯医者に行けば良い」という簡単なことでは解決しない。ドクターを中心とする診療スタッフ、施設の職員及び本人が相互に成長作用して治療が可能になり、予防が可能になる。さらに歯の治療と予防というテーマから、体と心の健康管理まで及ぶ。障害者にかかわる多くの人のチームワークが必要である。



作日即展二小△云

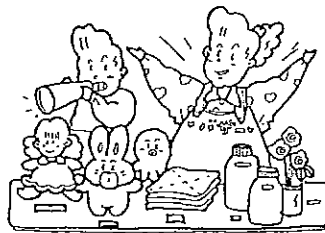
三池真奈美

熊本県精神薄弱施設作品展示即売会が11月20日から3日間、熊本二の丸公園（催し広場）で行われました。各班日頃の作業訓練の成果を見てもらうよい機会とばかりに、作品作りに励み、昨年に比べると、ラベル作りや加工、パツクの工夫等で、お店に売ってある製品に引け劣らないものが出来上がりました。

初日は朝から雨模様。それでも店番や、スイートボールを揚げる為朝早くからエプロン姿で来て下さった保護者の方々。「これはいいですよ!!」と一つ一つを賞賛しながら販売してくれたボランティアさん。そして三気の里の色々な作品を買って下さった方々。いつもながら、三気の里は大勢の人に支えられているんだなあと思えて感じさせられました。皆様に感謝感謝です。

最終日には天気にも恵まれ、お

客様の入りも好調。昼過ぎには、嬉しい事に「竹とんぼ、木工品（小物）スイートボール、野菜、漬物等々」完売に近い状態。夕方四時すぎ、閉会式では入場者が目標の六千人を越えた為、各施設に「大入袋」が配られると伝えられました。最後になりましたが、岩坂の坂本さん、さつま芋をどうも有り難うございました。



食堂営業中

7月から食堂の壁に裝飾をしています。

7月は青い海のポスターを。すると坂本さんが色画用紙で大きな窓を作ってくれました。8月はす

だれに色紙に朝顔の花を。夏祭りには赤い祭りのうちわをいっぱい作って貼りました。厨房のパートの方も紙で作ったひまわりの花を持って来てくれました。9月には阿蘇からすすきを取って来て、それから園生みんなに絵を書いてもらい貼ることにしました。10月もみんなの絵を。それから父兄の方や園生が花や木の枝を持って来てくれたので食堂はとっても優しい色でいっぱいでした。11月になると額に入った絵や写真を職員の人がどこからともなく探し出して来てくれるようになりました。今、外はとっても寒いけど食堂はみんなの気持ちでいっぱいなの、とってもあったかい色に彩られています。高木



2 班 鬼の目の涙

寒さが厳しくなり、野山が色づいています。11月レクは、紅葉狩りと鍛練の為、久住登山をしました。いつもなら大きな声を出して怒り出す文ちゃんが今回新品の登山靴とウィンドブレイカーに大喜びをして、にこにこマイペースで登りました。文ちゃんの前を歩きながら、今まで頑張ってきた事が見えた様な気がして、嬉しくて嬉しくてたまらず私一人で泣きました。英ちゃんも皆んなとペースを合わせて歩けるようになったし、あっちゃんも事務長と二人三脚で頑張って登りました。危険な所では“ゆっくり”、滑りやすい所は“足元に気をつけて”等、山では自分の体を通して学ぶ事が一杯ですが、皆んな頑張っ

てやれました。最後に夜勤明けでレクに参加され、温泉と饅頭のプレゼントして下さいました。事務長有り難うございました。 高橋

4 班 鞍岳登山

11月12日、昨日までの冷え込みが嘘だったかのように晴れ渡った日、「やっぱり日頃の行いがいいけんよね。」と、みんなで言いながら、楽しい山登りに行ってきました。山頂近くまで車で行ったので、歩いたのは、30分ぐらい。急斜面や、滑りそうなところもありきつかったのですが、なぜかみんなの顔は活々しています。お弁当を楽しみにしているのはもちろんですがそれプラス今回は、山頂でぜんざいを温めて食べようという計画があるからなのです。山頂に着き、さっそくお弁当を食べ、その間に持って来たカセットコンロに、お鍋をかけました。中には、山中指導員特製のぜんざいが入り、おもちが入りました。まだかまだかとみんなが見守る中、木下指導員の、「よし、食べていいよ。」の一言で我先にと、みんなおわんにぜんざいを入れてもらいました。紅葉のまだ残っている山々を見ながら食べたぜんざいのおいしかったこと。みんなのおなかは、満足感でいっぱいになりました。 橋本

外作業班 泉村探訪記

11月19日(木)、秋晴れの空の下、外作業班では泉村の千段轟の滝まで紅葉狩りに出かけました。高速を降りていざ泉村へ向かい出すと、道は細いながら眼下にのどかな田舎の景色を見下ろしてのドライブとなりました。色付いたイチョウ等に目を走らせる園生の横では、逆にどンドン青ざめていく職員もありました。あいにく千段轟の滝では少し紅葉には遅く肌寒い感じでしたが、きれいな景色をながめながらお弁当に舌鼓を打ちました。帰り道では道路工事の為少し遅くなったりしたものの、そこは運転上手の職員が観光バスにも負けじとの運転で快調なドライブ、しっかり予定時刻には帰りつけました。時期をはずしたのは残念でしたが、これにこりずに、又みんなのでかけようね。 東



1 班 平家の里巡り

10月29日紅葉狩り、のん気号に乗って五家荘へ、砥用町から登り二本松峠から熊本市を一望、の予定が霧で見えず素通り。梅の木轟公園でなが〜い吊橋を渡り（全員怖がりもせず、走って渡る博君や路ちゃん）休憩所で昼食、厨房さん自慢の山菜弁当を広げ舌づつみを打つ（二杯平らげたのは事務長で分けてあげると言っているのに断固拒否した勝ちゃん、本当は欲しいのに。）休息も束の間、滝を見に溪谷を下り、また登る（宣陽さんにはちょっとハードだったけど僕も行くと頑張りました）。吊橋では有名な縦木の吊橋。ここは丸太で橋が作ってあり走る人はいませんでした。怖がるのは宣陽さんでした。せんだん轟の滝を車の中からかいま見て一路三気の里へ、細く曲がりくねった道を揺られながら長い長いレクリエーションを終えました。運転手の事務長お疲れ様でした。今回は妊婦の山口指導員が参加できなかったのが残念でした。 田辺

3 班 天国と地獄

紅葉も終わった11月26日、3班は人吉の方へ出掛けました。この日はとても寒く、山沿いでは雪が降ると天気予報で流れ、大丈夫かな？と心配したのですが、みんなしっかり着込んで人吉で思いっきり遊びました。まず、人吉クラフトパークでお弁当を食べ、腹ごしらえをした後、クラフトパーク内の館見学をしアスレチックで寒さを吹っ飛ばしてしまいました。ちょっぴり怖がりの武ちゃん・哲ちゃん・真一郎くんも頑張って上の方まで登り、マコちゃんは難なくこなし、憲ちゃん・一くん・新ちゃん・順ちゃん・マーくんも続いてゴールへ向かいました。寒いのでお腹の中から温めようと、ぜんざいを食べ、本日メインの温泉へ…。温度の違う3つのお風呂があり、順々に入りしっかり温まりました。「せっかく来たんだから、もうちょっと入っときましょうよ〜。」と、の〜んびり女風呂。女風呂の方はほとんど貸し切り状態で、ゆっくりできてとても幸せな気分でした。隣の男風呂では賑やかな声。（3班園生は全員男性なのです。）入浴介助の園長、田之上指導員お疲れ様でした。帰宅中で参加できなかった希久ちゃん・稔くん、来月是一緒に行こうね。 今村

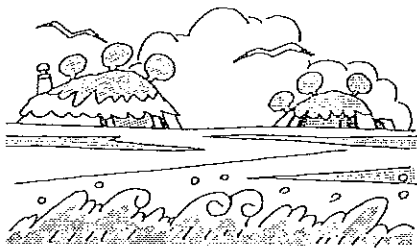
愛護の研修報告

坂本信子

平成4年10月14日、愛護の合宿研修会(一泊二日)は、不知火湾の見渡せるながめのとても良い水天荘で行われた。最初の講演は三気の里の園長、でアメリカにおける障害者福祉の現況についてだった。主にADA法(障害を持つアメリカ人法)についての話が あったが、日本の福祉の遅れを再確認させられるものだった。次に熊本養護学校の高瀬先生の講演で、日常生活の中の音楽と、行事の中での体操の工夫で、歌ったり、躍ったりと楽しく過ごさせて頂いた。15日には今回の講演の地水俣の話だった。まずは徳富蘇峰先生について、子どもの頃から一生涯を通しての説明があり窪田先生その人物への思い入れの強さに驚かされた。次に「水俣病」について、主にフィルムでの説明だったが、これには驚いた。「知ってるじゃないか」というあさはかな思

いが消し飛んだ。中・高校生の教科書にもでていて、もう過去のもの、というイメージが一般的には強いように思うが、私もその例にもれていなかった。フィルムを見るうちに涙が溢れてきて止まらなくなってしまう。より多くの人々がこのフィルムを見なくてはならないと強く感じる。公害の：自然を破壊することの本当の恐さを感じとるべきなんだ。

高台から見渡せる不知火湾の青い海は今も尚、有機水銀によって汚れているという。二度と取り戻すことのできない自然がそこにはあるのだから。



ちよっと気になる

虫木養の三話

風邪の流行る時期になりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。さて、風邪にはビタミンCが良く効くと言われていますが、他にもこんな効果があるのはご存じですか? 焼き魚に大根卸しはよくある組み合わせです。しかし、魚の中のアミンという化合物が野菜・唾液・食品添加物の亜硝酸と出合うとニトロソアミンという発癌物質ができます。でも、ビタミンCはニトロソアミン自身ができるのを抑えたり、この化合物による発癌を防いだりしてくれているのです。これからの旬の野菜ブロッコリーには100g中160mgと、レモンの約2倍近くのビタミンCが含まれています。レモンだけがビタミンCの代表的食品ではない事がわかりますね。

高津



ぼらんていあ通信

いよいよ今年もあと一ヶ月となりました。今年もたくさんボランティアさんにお世話になりました。開園祭・運動会・夏祭り・ボランティア学習会といろいろな行事もボランティアさんのおかげで楽しめました。また、ブラッシング指導・散髪・清掃には毎月来て頂き本当に感謝しています。皆さんも忙しいと思いますが、暇な時間がありましたら遊びでも結構ですので、気軽にお寄りになりますか？ 来年もよろしくお願います。

山口



ボランティア

ありがとう

- ☆ブラッシング指導 森 隆子
- ☆散髪 源造マスマミ 坂本シマコ
- ☆清掃 遠山一恵 古賀由紀子
- ☆一日ボランティア 嘉屋本 博

徳永 将治
丸野 瑛子
(敬省略)

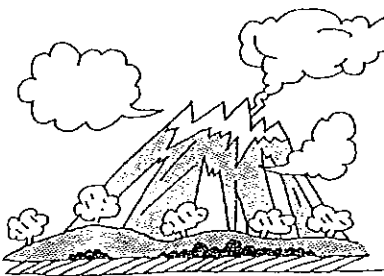


雲仙コロニー見学について

木下昭二

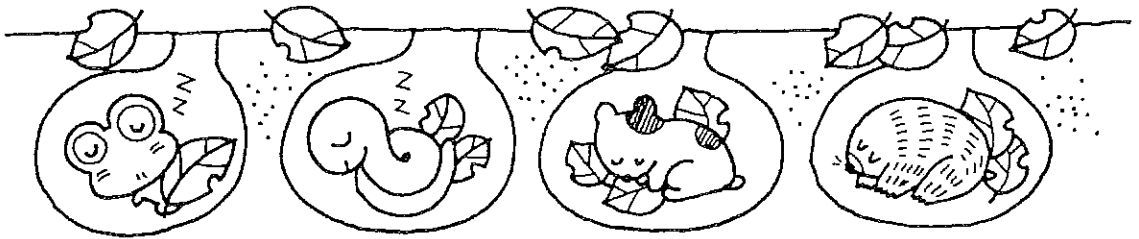
10月7日、園の男性職員7名で、島原に建設中の授産通所更生施設松光学園、コロニー雲仙、近藤原理先生のなずな園の三ヵ所の見学に行つて来ました。長崎全土を南から北へ北上する強行スケジュールだった為早朝5時出発でした。

乗船した有明フェリーからは普賢岳の火砕流を見ることができ改めて自然の凄さ恐ろしさを実感することができました。見学させて頂いた三ヵ所は、松光学園はこれから//を感じさせるものがあり、コロニー雲仙は、充実、発展、躍動を感じ取ることができました。近藤先生のなずな園では、ほのぼのとした生活感を感じ、コロニー雲仙、なずな園共に個々の障害の度合いにあった生活づくりがされている事を見て取ることができ、我々も改めて頑張らねばと痛感しました。それぞれの施設の説明にあたって下さった先生方、ありがとうございました。



1 2 月の行事予定

1 (火)	17 (木) 2班レク
2 (水) 体重測定	18 (金) 大掃除
3 (木) 3班レク 託生会	19 (土) シーツ交換 療育相談日
4 (金) 4班宿泊レク	20 (日)
5 (土) シーツ交換 療育相談日	21 (月)
6 (日)	22 (火)
7 (月)	23 (水) 国外作業班レク
8 (火)	24 (木) クリスマス会
9 (水)	25 (金) 作業納め 帰宅週間
10 (木) 1班レク	26 (土)
11 (金)	27 (日)
12 (土) もちつき大会 帰宅日	28 (月) 帰宅日
13 (日)	29 (火) 冬季帰宅訓練
14 (月)	30 (水)
15 (火) 防災訓練	31 (木)
16 (水)	注：帰宅バスは運行致しません！



紅葉の秋・食欲の秋・スポーツの秋が過ぎ、寒～い寒～い冬がやってきました。寒がりの私は何枚も何枚も服を着込んで、ダルマのように着膨れしてしまいます。段々、こたつから離れられなくなっています。そのうち、周りに食べ物を置いてそのまま冬眠してしまうかもしれせん。

今村

編集後記

永野正年

十一月二十七日付け

※敬称略

後援会入会

ありがとうございます

お礼

岩坂の坂本学さん、さつま芋を
どうもありがとうございました。